

前回の指摘事項一覧

(第 1 回「日本版 EHR 事業推進委員会」の指摘事項)

【指摘事項 1】

- ・ 医療・健康情報の管理の在り方について検討していただきたい。特にデータの蓄積方法（分散型・集中型）、分散型の管理形態における各機関の保有情報を同期するタイミング、情報の保存期間について検討いただきたい。

【指摘事項 2】

- ・ 各事業フィールド別に参照する標準（標準仕様等）が異なると、取りまとめが困難になる。取りまとめのためにも、沖縄県浦添市で実施した健康情報活用基盤実証事業で使用された標準形式等を使用することについて検討していただきたい。

【指摘事項 3】

- ・ オフィス文書等（pdf、txt、xls、doc 形式のファイル等）には、マクロウィルス感染の恐れ等もあるため、ファイル（文書や画像・動画等のファイルも含む）管理について検討していただきたい。また、携帯端末による健康情報活用基盤へのアクセスにおいては、情報流出リスクが高く、情報流出リスクへの対策を検討していただきたい。

【指摘事項 4】

- ・ 技術仕様について、現在どういったものが標準化され、どこまで使えるのかについての整理をしていただきたい。

【指摘事項 5】

- ・ 各事業フィールドで得られた実証データについて、実証の各段階において効果・目的を検討していただきたい。

【指摘事項 6】

- ・ 健康情報活用基盤の導入によって、一番利便性が増す患者側からの視点を検証項目に入れてもらいたい。

【指摘事項 7】

- ・ 「天かける」医療・介護連携事業では、介護施設側から出ていく情報として、介護施設間の介護情報の連携はないか検討していただきたい。

【指摘事項 8】

- ・ 医療・介護連携事業は（タスクフォースでの議論も通して）、各施設間におけるニーズのばらつきが少ないという理解をした。脈拍情報、血圧情報等、介護情報として登録する情報の内容について検討をしていただきたい。

以 上